

提言書

「Heart of Tajimi -たじみ市民討議会 2019-」に関する提言書

2019年8月24日、25日に開催されました「Heart of Tajimi -たじみ市民討議会 2019-」に於いて討議された意見を以下のとおり提言いたします。

大テーマ『“日本一住みやすいまち”たじみにするには』

中テーマ『明日の交通インフラ～さあ！みんなで考えよう』

討議テーマ1：もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、どうしたらその困り事を解決できますか？

交通に対する問題について、当事者意識を持ってもらう為に話し合ってもらいました。ここでの意見が討議テーマ2以降の前提となっています。多治見市民の意識・認識として参考にしていただきたいです。

もし、車が使えなくなったら何に困りますか？

・買い物 ・通勤 ・送迎 ・レジャー、趣味 ・仕事 ・育児 ・介護 などに困ります。

どうしたらその困り事を解決できますか？

・バス ・タクシー ・徒歩 ・移動販売 ・ネット宅配 ・レンタカー ・カーシェア
を利用します。

討議テーマ2：どんなバスだったら乗りたくなりますか？

市民はバスの利用率向上の為に課題を次のように考えています。

- ・最終バスの運行時刻が早いこと
- ・路線等の減少により、バス停までのアクセスが悪いこと
- ・小銭が必要であるなど、支払時に不便さを感じる事

以上をふまえ、以下の提言をします。

1. バス利用に対する今回の討議会で出た市民の意見を伝える為に、市民討議会のメンバーが地域公共交通会議にて意見を発言する機会を求めます。
2. 市民が望む、バス利用の利便性向上の為に意見が実現可能かを検証する以下の社会実験の実施を提案します。
 - ・交通系 IC カードの導入
 - ・最終バスを遅くするという運行時間の見直し
 - ・路線バスのバス停へのアクセスを改善する為に、ききょうバスの運用方法を地域巡回型にする

討議テーマ3：どんな仕組みがあればあいのりタクシーに乗りたいと思いますか？

市民は、あいのりタクシー利用にあたり乗車環境についてのトラブルへの不安を懸念しています。また、あいのりタクシーそのものが認知されていない事が課題であると思っています。それをふまえ、以下の提言をします。

1. あいのりタクシーを安心して利用できるようにする為に、以下のルールを盛り込んだガイドラインの作成を求めます。
 - ・登録者と利用者が同一であることを証明する利用者カードを提示するなどの本人確認制度の導入
 - ・予約時に乗降場所、乗降順が指定できる
 - ・予約時に、同乗者の性別が確認できる
 - ・車内に仕切りを設ける
 - ・飲酒者は乗車できない など
2. あいのりタクシーの良さを伝える為に、以下のメリットを記載したPRチラシを作成し、配布する事を提案します。
 - ・成功モデル当事者の声
 - ・隣の校区へ行けるなどの利便性
 - ・自己負担が割安などの経済的利点 など

討議テーマ4：渋滞を無くしていく為の仕組みづくりを考えてみましょう！

市民は、渋滞を無くしていく為に、思いやりのある運転をする、交通マナーを守る、など自分たちの意識を変える必要があると思っています。又、自家用車以外の移動手段を利用することも考えています。一方では、企業誘致の際の送迎バスによる通勤制度を高く評価しています。それをふまえ、以下の提言をします。

1. 企業による社員の送迎、フレックスタイム制の導入を促進する為の支援策を検討することを提案します。
2. 自家用車以外で移動する事を促進する為に、公共交通機関を利用した際にポイントやクーポンなどを付与し、なんらかの形で還元する制度の創設を求めます。

2019年10月31日

たじみ市民討議会実行委員会

実行委員長 中村 将大